

萩保健医療圏における中核病院形成に向けた取組について

1 これまでの取組

■中核病院形成検討委員会での検討

(1) 背景、中核病院形成検討の目的等

⇒ [別紙資料1](#) 令和2年1月30日 萩医療圏地域医療構想調整会議資料

萩医療圏地域医療構想調整会議での主な意見・質問等

- 令和元年度第2回萩保健医療圏地域医療構想調整会議（令和2年1月30日）議事概要より
- いきなり病院統合が前面に出ているが、市は病院経営の状況や税金の使われ方など様々な情報を発信し、地域住民の意見を踏まえながら、地域住民が納得するよう十分な説明責任を果たして欲しい。
 - 萩市医師会として、萩保健医療圏の住民が求めるであろう中核病院のあり方を検討し、萩市医師会案として臨時総会で可決した。萩市が設置する中核病院形成検討委員会でも、中核病院のあり方について意見が出てくるので、これらの意見を踏まえ、地域医療構想調整会議を最終的な協議の場として議論を進めていきたい。

(2) これまでの検討状況

⇒ [別紙資料2](#) これまでの検討委員会について
[別紙資料3](#) 中核病院の基本的な方向性について

2 ゼロベース検討について

■趣旨

- 萩市民病院と都志見病院との統合による萩保健医療圏における中核病院の形成については、萩の地域医療を維持するための有効的な手法として検討を進めてきましたが、市民から賛成の意見がある一方、萩市の将来の負担増を心配する声や2病院が統合すれば他医療圏の基幹病院や大学病院のような大きな病院ができるのでは、といった期待を持たれた方もいました。
- こうした市民の不安が解消されないまま、また、中核病院への市民の認識が違いままで、2病院統合による中核病院の検討を進めるのではなく、萩医療圏における医療提供体制を守っていくための手法について、これまでの2病院統合による方法も含め、市内医療関係者と市民代表の方々とで検討、協議を行うものです。

■考え方

- 萩医療圏の現状を踏まえた上で、萩医療圏に必要な不可欠な医療機能のうち公的・中核的な病院（中核病院）で担うべき医療機能は何か、確認、協議を行います。

- 2病院統合が最も良い方法なのか、その他の方法は無いのか、必要な経費や将来の医療需要も考慮し、最適な方法を市内医療関係者と市民代表の方々とで検討し、方向性の確認を行います。
- この検討組織による検討結果を踏まえて、市議会で説明した上で、萩市としての方針を決めていきます。萩市が方針決定するにあたっては、地域医療構想調整会議において内容について協議をお願いしたいと考えています。

3 今後の取組（予定）

令和3年7月16日に市内医療関係者や市民代表の方々による（仮称）中核病院協議会を設置し、萩医療圏に必要な医療提供体制を維持する（中核的な病院を形成する）ための手法（パターン）について、検討、協議をしていきます。これまでの中核病院形成検討委員会は廃止します。

（1）委員構成

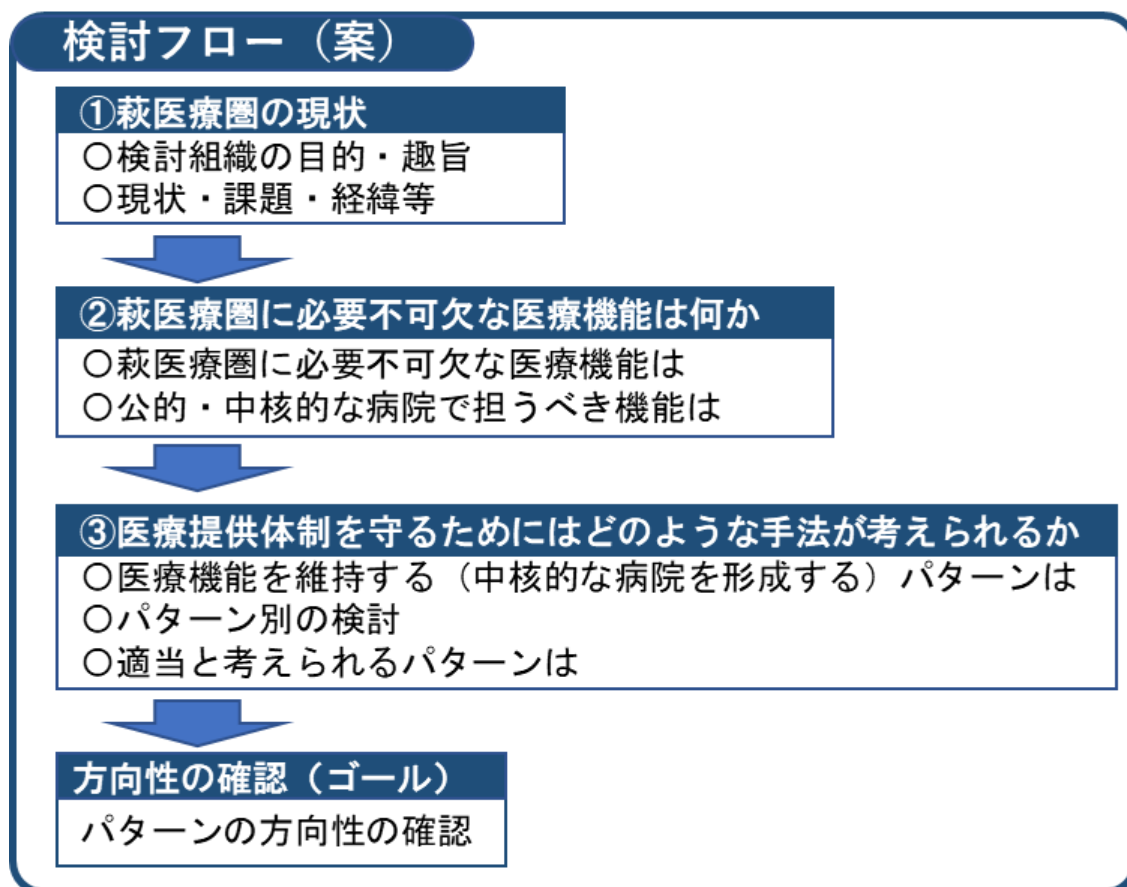
（仮称）中核病院協議会委員名簿

（敬称略）

| 区分 | 役職名 | 氏名 |
|-------|--------------------------|-------|
| 医療関係者 | 萩市医師会長 | 綿貫篤志 |
| | 萩医療圏地域医療構想調整会議病床機能等検討部会長 | 八木田眞光 |
| | 萩市民病院長 | 米澤文雄 |
| | 都志見病院長 | 亀田秀樹 |
| | 玉木病院長 | 玉木英樹 |
| | 萩むらた病院長 | 村田洋一郎 |
| | 萩薬剤師会長 | 柏木一宏 |
| | 山口県看護協会萩支部長 | 後根恵美香 |
| | 山口県理学療法士会理事 | 富崎強 |
| 市民代表 | 萩市社会福祉協議会長 | 大島昌子 |
| | 萩市連合婦人会長 | 藤家幸子 |
| | 萩市PTA連合会長 | 藤崎康宏 |
| | 萩市自治会連合会長 | 稲原輝昭 |
| | 萩市女性団体連絡協議会長 | 楊井敦子 |
| | 萩市民生委員児童委員協議会長 | 榎谷隆夫 |
| | 萩市老人クラブ連合会長 | 西元勇 |
| | 萩市保健推進協議会理事 | 武波雅子 |
| | 萩青年会議所理事長 | 井上雅之 |

(2) 主な検討内容

- 萩医療圏の現状を踏まえた上で、萩医療圏に必要不可欠な医療機能のうち公的・中核的な病院（中核病院）で担うべき医療機能の確認、協議
- 必要な経費や将来の医療需要も考慮し、医療提供体制を守るための最適な方法を市内医療関係者や市民代表の方々と検討、協議



(3) 開催スケジュール

令和3年7月から年内に4～5回開催

